

# 地域医療支援学講座

Community Medical Support Unit

客員教授 有嶋 拓郎 Takuro Arishima  
客員准教授 岩田 実 Minoru Iwata  
客員助教 松岡 理 Tadasu Matsuoka

## ◆ 著 書

- 1) 有嶋拓郎：めまい，ふらつき編 急激な回転性は要注意。「病気のシグナル」富山大学附属病院編著，20-21，北日本新聞社，富山，2012.
- 2) 有嶋拓郎：発熱編 清盛も苦しんだ発熱。「病気のシグナル」富山大学附属病院編著，44-45，北日本新聞社，2012.
- 3) 有嶋拓郎：大人の救急対応。「病気のシグナル」富山大学附属病院編著，156-163，北日本新聞社，富山，2012.
- 4) 岩田 実：内分泌の異常が原因。「病気のシグナル」富山大学附属病院編，90-91，北日本新聞社，2012.
- 5) 松岡 理：老化と病気編 低下する認知機能。「病気のシグナル」富山大学附属病院編，116-117，北日本新聞社，2012.

## ◆ 原 著

- 1) Fujita H., Hara K., Shojima N., Horikoshi M., Iwata M., Hitota Y., Tobe K., Seino S., and Kadowaki T. : Variations with modest effects have an important role in the genetic background of type 2 diabetes and diabetes-related traits. *J Hum Genet.*, 57: 776-779, 2012.
- 2) Fukuda H., Imamura M., Tanaka Y., Iwata M., Hirose H., Kaku K., Maegawa H., Watada H., Tobe K., Kashiwagi A., Kawamori R., and Maeda S. : A single nucleotide polymorphism within DUSP9 is associated with susceptibility to type 2 diabetes in a Japanese population. *PLoS One.*, 7: e46263, 2012.
- 3) Imamura M., Maeda S., Yamauchi T., Hara K., Yasuda K., Morizono T., Takahashi A., Horikoshi M., Nakamura M., Fujita H., Tsunoda T., Kubo M., Watada H., Maegawa H., Okada-Iwabu M., Iwabu M., Shojima N., Ohshige T., Omori S., Iwata M., Hirose H., Kaku K., Ito C., Tanaka Y., Tobe K., Kashiwagi A., Kawamori R., Kasuga M., Kamatani N., Diabetes genetics replication and meta-analysis (DIAGRAM) consortium, Nakamura Y., and Kadowaki T. : A single-nucleotide polymorphism in ANK1 is associated with susceptibility to type 2 diabetes in Japanese populations. *Hum. Mol. Genet.*, 21: 3042-3049, 2012.
- 4) Iwata M., Maeda S., Kamura Y., Takano A., Kato H., Murakami S., Higuchi K., Takahashi A., Fujita H., Hara K., Kadowaki T., and Tobe K. : Genetic risk score constructed using 14 susceptibility alleles for type 2 diabetes is associated with the early onset of diabetes and may predict the future requirement of insulin injections among Japanese individuals. *Diabetes Care*, 35: 1763-1770, 2012.
- 5) Imamura M., Iwata M., Maegawa H., Watada H., Hirose H., Tanaka Y., Tobe K., Kaku K., Kashiwagi A., Kadowaki T., Kawamori R., and Maeda S. : Replication study for the association of rs391300 in SRR and rs17584499 in PTPRD with susceptibility to type 2 diabetes in a Japanese population. *J. Diabetes Investig.*, 4(2): 168-173, 2013.

## ◆ 症例報告

- 1) Iwata M., Oki Y., Okazawa T., Ishizawa S., Taka C., Yamazaki K., Tobe K., Fukuoka J., Sasano H., and Nishikawa T. : A rare case of adrenocorticotrophic hormone (ACTH)-independent macroadrenal hyperplasia showing ectopic production of ACTH. *Intern. Med.*, 51: 2181-2187, 2012.
- 2) 乗杉 理，松井恒太郎，浅野幸恵，古市 恵，原 寛，松下 功，旭 雄士，若杉雅浩，有嶋拓郎，豊本貴嗣，清水忠道：トシリズマブ(アクテムラ)投与中患者に発症した劇症型A群連鎖球菌感染症。皮膚病診療，34: 343-346，2012.

## ◆ 総 説

- 1) 有嶋拓郎：運動や作業中の熱中症対策。医報とやま，1560: 5-8，2012.

- 2) 有嶋拓郎：津波. *Modern Physician*, 32: 658-660, 2012.

#### ◆ 学会報告

- 1) 渋谷伸子, 奥寺 敬, 有嶋拓郎, 釈永清志, 山崎光章, 峠 正義：気管チューブ屈曲により気管吸引が不能となった2例. 第39回日本集中治療医学会, 2012, 2, 8-3, 1, 千葉.
- 2) 岡澤成祐, 山内勇人, 篠田晃一郎, 林 龍二, 有嶋拓郎, 和田暁法, 戸邊一之：避難所での感染性胃腸炎蔓延防止のための取り組み フェーズ制導入による対策の標準化の試み. 第27回日本環境感染学会総会, 2012, 2, 3-4, 福岡.
- 3) 大塚光哉, 濱田浄司, 若杉雅浩, 有嶋拓郎, 奥寺 敬：メトヘモグロビン血症を合併した一酸化炭素中毒に対して高気圧酸素治療を行った一例. 第9回日本臨床高気圧酸素・潜水医学会, 2012, 6, 1-2, 富山.
- 4) 佐藤圭路, 常原一雄, 光永英紀, 小林美代子, 有嶋拓郎, 横山宏道, 鴨田吉浩, 大川元久：意識障害病院前救護(PCEC)コースデザインの工夫 当圏域での試み. 第15回日本臨床救急医学会, 2012, 6, 16-17, 熊本.
- 5) 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 濱田浄司, 松井恒太郎, 小浦友行, 北啓一朗, 奥寺 敬, 山城清二, 渋谷伸子：G群溶血性連鎖球菌感染で両下肢の壊死性筋膜炎となり劇症型の病態を呈した1例. 第27回日本救命医療学会, 2012, 9, 13-14, 東京.
- 6) 平識 亘, 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 濱田浄司, 加島志郎, 小浦友行, 北啓一朗, 奥寺 敬, 山城清二, 渋谷伸子：劇症型G群連鎖球菌感染症による両側下腿壊死性筋膜炎となった1例. 第20回日本集中治療医学会東海北陸地方会, 2012, 6, 23, 富山.
- 7) 加島志郎, 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 濱田浄司, 平識 亘, 長妻正浩, 高木宏明, 渋谷伸子, 小浦友行, 奥寺 敬：せん妄患者に対する抑肝散使用の2例. 第20回日本集中治療医学会東海北陸地方会, 2012, 6, 23, 富山.
- 8) 有嶋拓郎, 東岡宏明, 田中 圭, 松井直樹, 畑田 剛, 大森教成, 若杉雅浩：大震災における救命救急センターおよび災害拠点病院の役割：標準化を目指した災害拠点病院における多数傷病者受け入れ訓練の試み（シンポジウム）. 第27回日本救命医療学会, 2012, 9, 13-14, 東京.
- 9) 有嶋拓郎, 東岡宏明, 田中 圭, 松井直樹, 畑田 剛, 大森教成：大災害発生時の傷病者受け入れ訓練はどうあるべきか. 第40回日本救急医学会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 10) 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 濱田浄司, 松井恒太郎, 小浦友行, 北啓一朗, 山城清二, 奥寺 敬：研修医のニーズと救急・総合混成チームによる救急部再編 富山大学病院の試み. 第40回日本救急医学会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 11) 佐藤圭路, 大田泰正, 有嶋拓郎：地区医師会主催中小病院向け災害医療講習会の現状と課題. 第40回日本救急医学会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 12) 若杉雅浩, 濱田浄司, 有嶋拓郎, 工廣紀斗司, 奥寺 敬：災害実動訓練の学習効果向上のための机上訓練の活用. 第40回日本救急医学会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 13) 有嶋拓郎, 若杉雅浩, 濱田浄司, 松井恒太郎, 小浦友行, 奥寺 敬：高齢せん妄患者に抑肝散を使用した2例. 第40回日本救急医学会, 2012, 11, 13-15, 京都.
- 14) 有嶋拓郎, 東岡宏明, 田中 圭, 松井直樹, 畑田 剛, 大森教成, 松永 靖：災害拠点病院における比較的簡単に繰り返しできる多数傷病者受け入れ訓練. 第7回医療の質・安全学会, 2012, 11, 23-24, 大宮.
- 15) 岡部圭介, 岩田 実, 福島泰男, 加村 裕, 加藤弘巳, 福田一仁, 薄井 勲, 石木 学, 戸邊一之：耐糖能異常と呼吸機能の関連に関する横断研究. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会, 2012, 5, 17-19, 横浜.
- 16) 岡澤光代, 加村 裕, 岩田 実, 戸邊一之, 加藤弘巳, 松下由美：メタボリック症候群の危険因子と腹囲基準の妥当性の解析(JDS54の続報). 第55回日本糖尿病学会年次学術集会, 2012, 5, 17-19, 横浜.
- 17) 和倉健朗, 福田一仁, 岩田 実, 岡部圭介, 小清水由紀子, 宇野立人, 石木 学, 薄井 勲, 戸邊一之：2型糖尿病患者の治療選択における食後CPR indexの有効性の検討. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会, 2012, 5, 17-19, 横浜.
- 18) 石木 学, 西田康宏, 藤坂志帆, 岩田 実, 薄井 勲, 戸邊一之：多様な抗酸化剤のin vitroでのインスリン作用への影響の比較検討. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会, 2012, 5, 17-19, 横浜.
- 19) 福田一仁, 岩田 実, 松原 靖, 石木 学, 薄井 勲, 戸邊一之：糖毒性解除前後のグルカゴン負荷試験とCPIによる治療選択における有用性の検討. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会, 2012, 5, 17-19, 横浜.
- 20) 岩田 実, 前田士郎, 加村 裕, 高野敦子, 村上史峰, 加藤弘巳, 福島泰男, 手丸理恵, 赤川直次, 樋口清博, 薄井 勲, 石木 学, 小橋親晃, 山崎勝也, 浦風雅春, 浅水幸恵, 井窪万里子, 小田寛文, 五十嵐保文, 多喜和子, 福田一仁, 戸邊一之：FTO遺伝子多型は男性において糖尿病発症に関連する. 第55回日本糖尿病学会年次学術集

会, 2012, 5, 17-19, 横浜.

- 21) 福田一仁, 岩田 実, 薄井 勲, 小清水由紀子, 石木 学, 稲垣暢也, 戸邊一之 : 治療方針決定における経時的グルカゴン負荷試験の有用性とCPIの相関. 第55回日本糖尿病学会年次学術集会, 2012, 5, 17-19, 横浜.
- 22) 福田一仁, 岩田 実, 松原 靖, 石木 学, 薄井 勲, 戸邊一之 : 糖毒性解除前後におけるグルカゴン負荷試験とCPIの相関. 第109回日本内科学会総会, 2012, 4, 13-15, 京都.
- 23) 岩田 実, 前田士郎, 加村 裕, 高野敦子, 手丸理恵, 加藤弘巳, 赤川直次, 村上史峰, 樋口清博, 戸邊一之 : 遺伝的リスクスコア(Genetic risk score)は糖尿病診断時年齢やインスリン分泌能と関連する. 第109回日本内科学会総会, 2012, 4, 13-15, 京都.
- 24) 村上史峰, 高野敦子, 小川玲奈, 岩田 実, 中舘照雄, 高林大輔, 岩田安弘, 寺崎禎一, 戸邊一之, 中林智之 : 緩徐進行1型糖尿病患者で皮膚潰瘍・肺炎・低血糖昏睡を呈し, 発作性心房細動から診断された多腺性自己免疫症候群3型の1例. 第55回日本甲状腺学会, 2012, 11, 29-12, 1, 福岡.
- 25) 岡澤光代, 加村 裕, 岩田 実, 戸邊一之, 加藤弘巳, 松下由実 : 心血管リスク因子保有数が急激に上昇する腹囲の性別・年齢別の検討. 第33回日本肥満学会, 2012, 10, 11-12, 京都.
- 26) Okazawa T., Kamura Y., Iwata M., Tobe K., Kato H., and Matsushita Y. : Association between an increase in waist circumference and the number of cardiovascular risk factors in men under 65 years of age and women under 50 years. 9th IDF-WPR Congress / 4th AASD Scientific Meeting, 2012, 11, 24-27, Kyoto.

#### ◆ その他

- 1) 有嶋拓郎 : 「便利さの追求と安全の追求」の到達点. 脳神経センター大田記念病院オープンカンファレンス, 2012, 2, 20, 福山.
- 2) 有嶋拓郎 : 富山県生涯学習カレッジ : ふるさと発見講座. 人間探求コース『ふるさとと心』『衣, 食, 住』富山の健康主義文化について, 2012, 5, 2, 高岡.
- 3) 有嶋拓郎 : 運動や作業中の熱中症対策. 平成24年度日医認定健康スポーツ医再研修会・産業医研修会, 2012, 6, 12, 福井.
- 4) 有嶋拓郎 : 運動や作業中の熱中症対策. 富山県医師会産業保健研修会, 2012, 8, 26, 富山.
- 5) 有嶋拓郎 : 生活にある危険と安全. 病気のシグナル講演会, 2012, 6, 16, 飛騨.
- 6) 有嶋拓郎 : 災害に対するの病院としての備えと地域密着型病院災害訓練. 射水市民病院講演会, 2012, 8, 3, 射水.
- 7) 有嶋拓郎 : 敗血症に対する急性血液浄化法. 第7回東海CHDF技術検討会, 2012, 8, 25, 名古屋.
- 8) 有嶋拓郎 : 災害に対するの病院としての備えと地域密着型病院災害訓練. 鹿児島生協病院講演会, 2012, 9, 7, 鹿児島.
- 9) 有嶋拓郎 : 地域密着型病院災害訓練 -Disaster ABC- の紹介. 平成24年第2回新潟県災害医療コーディネーター・災害時医療従事者合同研修会, 2012, 10, 28, 新潟.
- 10) 有嶋拓郎 : 「便利さの追求と安全の追求」の到達点. 第1回飛騨市民病院医療安全研修会, 2012, 10, 31, 飛騨.
- 11) 有嶋拓郎 : バイタルサイン. 飛騨市民病院救急勉強会, 2012, 11, 28, 飛騨.
- 12) 岩田 実, 福田一仁, 和倉健朗, 岡部圭介, 瀧川章子, 岡澤光代, 藤坂志帆, 小清水由紀子, 石木 学, 薄井 勲, 戸邊一之 : 2型糖尿病の治療方針決定における, 各種インスリン分泌指標の有用性の検討. 第4回富山糖尿病治療と合併症を考える会, 2012, 12, 6, 富山.
- 13) 林川恭子, 岩田 実, 猪又峰彦, 薄井 勲, 戸邊一之 : 一般地域住民におけるアディポネクチンと糖・脂質代謝異常との相関性についての検討. ジャヌビア発売2周年記念講演, 2012, 4, 5, 富山.
- 14) 松岡 理 : 認知症の理解と支援. 富山市認知症ブロック別研修会 (Gブロック大沢野), 2012, 2, 22, 富山.
- 15) 松岡 理 : 認知症の理解と支援. 富山市認知症ブロック別研修会 (Dブロック富山), 2012, 2, 29, 富山.
- 16) 松岡 理 : 地域での共生を願って 鳥は空に, 魚は水に, 人は社会に. 小矢部市連合婦人会教養セミナー, 2012, 6, 10, 富山.
- 17) 松岡 理 : 認知症について. 神通川プロジェクト発足記念事業 病気のシグナル講演会, 2012, 6, 16, 岐阜.
- 18) 松岡 理 : 富山大学神経精神科における認知症の診断・治療の流れ. 第一回中枢神経疾患の地域連携を考える会, 2012, 11, 28, 富山.